

(3) 平成 27 年度の水質の状況

① 河川

ア. 概況

平成 27 年度の河川における有機汚濁の代表的指標である BOD75%水質値※（以下「BOD」という）は、各水域とも良好な水質を維持している。

経年的には、近年良好な水質を維持している。

※75%水質値

測定データ（総数 n 個）をその小さい者から順に並べて 0.75×n 番目の測定データ。

環境基準の達成状況を評価する場合に用いる。

表 2-1-2 水域別 BOD の比較（平均値※）

		平成 27 年度	平成 26 年度
全測定地点		1.5 mg/L	1.8 mg/L
都市河川 水域	東部都市河川	1.1 mg/L	1.3 mg/L
	西部都市河川	2.1 mg/L	2.0 mg/L
西神水域		1.6 mg/L	2.0 mg/L
北神水域		1.3 mg/L	1.7 mg/L
下水道普及率		98.7 %	98.7 %

※平均値は隔年調査の河川を除いた地点で平均している

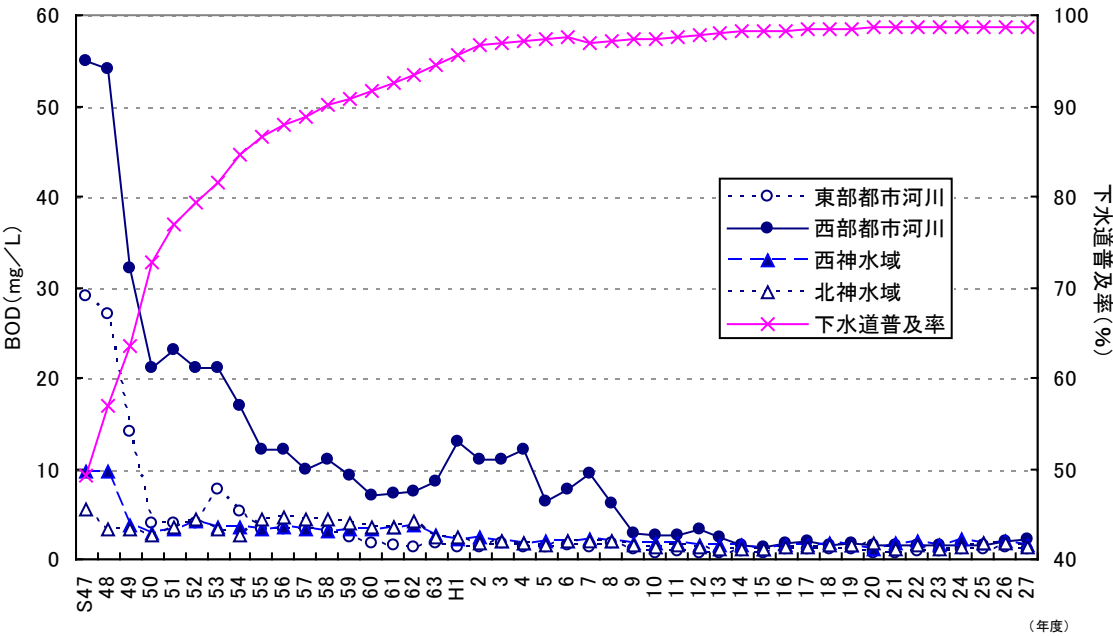


図 2-1-3 水域別 BOD の経年変化（平均値）

注）東部都市河川は住吉川・都賀川・生田川、西部都市河川は新湊川・妙法寺川・福田川の平均値

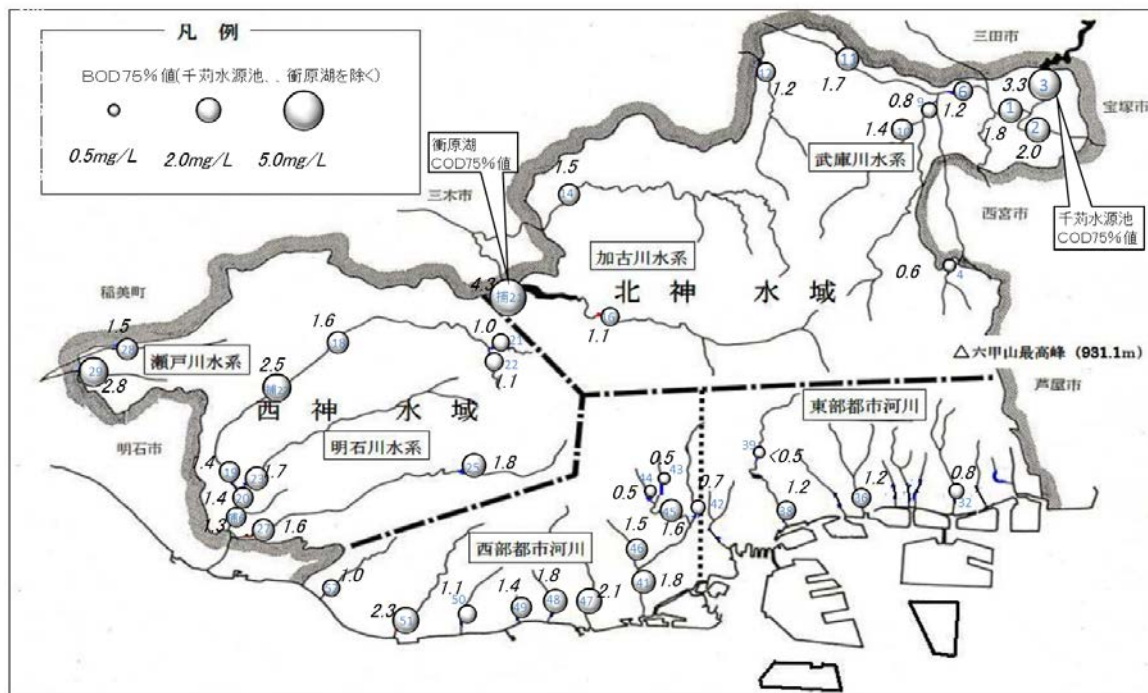


図 2-1-4 河川のBODの分布状況（平成 27 年度）

## イ. 環境基準の達成状況

### a. 健康項目の達成状況

38 地点（河川 24 地点、湖沼 1 地点、海域 13 地点）で健康項目（27 項目）の調査を行った結果、有馬川において、自然的要因でふっ素が環境基準値を超過して検出された。

○ 有馬川・長尾佐橋 年平均值 0.98mg/L（環境基準値 0.8mg/L 前年度 0.97mg/L）

### b. 生活環境項目の達成状況

河川の環境基準点におけるBOD等生活環境項目の環境基準の達成状況を表に示す。BODは、環境基準の水域類型指定がなされている4河川の環境基準点において、平成26年度に引き続き、環境基準を達成した。

表 2-1-3 環境基準点における生活環境項目の環境基準の達成状況（平成 27 年度）

水域名	類型	環境基準点	適合率（%）					BOD (mg/L)	BOD 環境基準値	達成 状況
			pH	BOD	SS	DO	大腸菌 群数			
明石川	B	上水源取水口	67 (83)	100 (100)	100 (92)	100 (100)	92 (50)	1.4 (1.9)	3mg/L 以下	○ (○)
志染川	B	坂本橋	75 (58)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	75 (75)	1.1 (1.1)		○ (○)
伊川	C	二越橋	8 (8)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	—	1.6 (1.6)	5mg/L 以下	○ (○)
福田川	E	福田橋	25 (0)	92 (100)	92 (92)	100 (100)	—	2.3 (2.4)	10mg/L 以下	○ (○)

下段（ ）内は平成26年度の値

◆ 適合率(%)=(環境基準に適合している検体数)÷(全測定検体数)×100

表 2-1-4 河川の水質の状況（平成27年度）

水域名	水系名	No.	河川名	測定地点名	環境基準 類型	BOD (mg/L)	pH	DO (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
北神水域	武庫川水系	1	武庫川	亀治橋	B	1.8	8.7	12	5	4700
		2	武庫川	大岩橋	B	2.0	8.4	11	6	3700
		4	有馬川	長尾佐橋		0.6	7.7	9.5	3	11000
		6	有馬川	月見橋		1.2	8.8	12	2	18000
		9	有野川	流末		0.8	8.8	12	4	9000
		10	八多川	才谷橋		1.4	9.1	12	3	3800
		11	長尾川	大江橋		1.7	8.5	13	7	72000
	加古川水系	12	大沢川	万歳橋		1.2	8.2	9.8	10	22000
		14	淡河川	万代橋		1.5	8.7	12	4	43000
		16	志染川	坂本橋	B	1.1	8.4	11	6	4000
西神水域	明石川水系	18	明石川	藤原橋	B	1.6	8.1	11	4	6200
		19	明石川	玉津大橋	B	1.4	9.1	13	5	820
		20	明石川	上水源取水口	B	1.4	8.2	11	4	4500
		21	木津川	流末		1.0	8.5	11	3	980
		22	木見川	流末		1.1	8.9	12	3	4300
		23	櫛谷川	流末		1.7	9.2	13	5	1500
		25	伊 川	水道橋	C	1.8	8.5	12	11	2400
		27	伊 川	二越橋	C	1.6	9.4	14	5	660
		28	鰯川	西区岩岡町		1.5	8.0	12	4	12000
		29	印籠川	西区岩岡町		2.8	8.0	9.6	8	14000
	瀬戸川水系	補6	明石川	旧水源	B	1.3	7.0	8.3	2	-
		補22	明石川	西戸田	B	2.5	8.2	10	5	21000
都市河川水域	東部都市河川	32	住吉川	住吉川橋		0.8	7.9	10	2	840
		36	都賀川	昌平橋		1.2	8.0	10	1	7600
		38	生田川	小野柄橋		1.2	8.4	10	1	4700
		39	布引水源池	水源池上流		<0.5	7.6	10	2	2800

水域名	水系名	No.	河川名	測定地点名	環境基準 類型	BOD (mg/L)	pH	DO (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
都市河川水域	西部都市河川	41	新湊川	南所橋		1.8	8.9	10	4	2800
		42	天王谷川	雪御所公園東		0.7	7.4	9.6	2	2700
		43	烏原川	水源池上流		0.5	8.1	9.6	1	1000
		44	イヤガ谷川	水源池上流		0.5	8.0	10	1	12000
		45	烏原水源池	取水塔前		1.7	8.7	9.8	3	2300
		46	苅藻川	八雲橋		1.5	9.3	12	2	3700
		47	妙法寺川	若宮橋		2.1	9.3	10	5	1500
		48	千森川	流末		1.8	8.1	8.7	4	13000
		49	一の谷川	流末		1.4	9.2	10	1	5900
		50	塩屋谷川	流末		1.1	9.8	13	3	1800
		51	福田川	福田橋	E	2.3	9.1	13	5	9600
		52	山田川	山田橋		1.0	9.2	12	1	5900

※pH、DO、SS、大腸菌群数は年平均値

## ウ. 水域ごとの状況

### a. 北神水域

昭和 50 年代から 60 年代にかけて、宅地開発等により急激に人口定着が進み、生活排水の影響を受けた一部の河川で、やや水質の悪化が見られたが、下水道の整備や生活排水対策の進捗などによって改善が進み、近年は良好な水質で推移している。

なお、志染川（B 類型）の環境基準点である坂本橋では、昭和 63 年度以降、BOD の環境基準（3 mg/L 以下）を達成している。

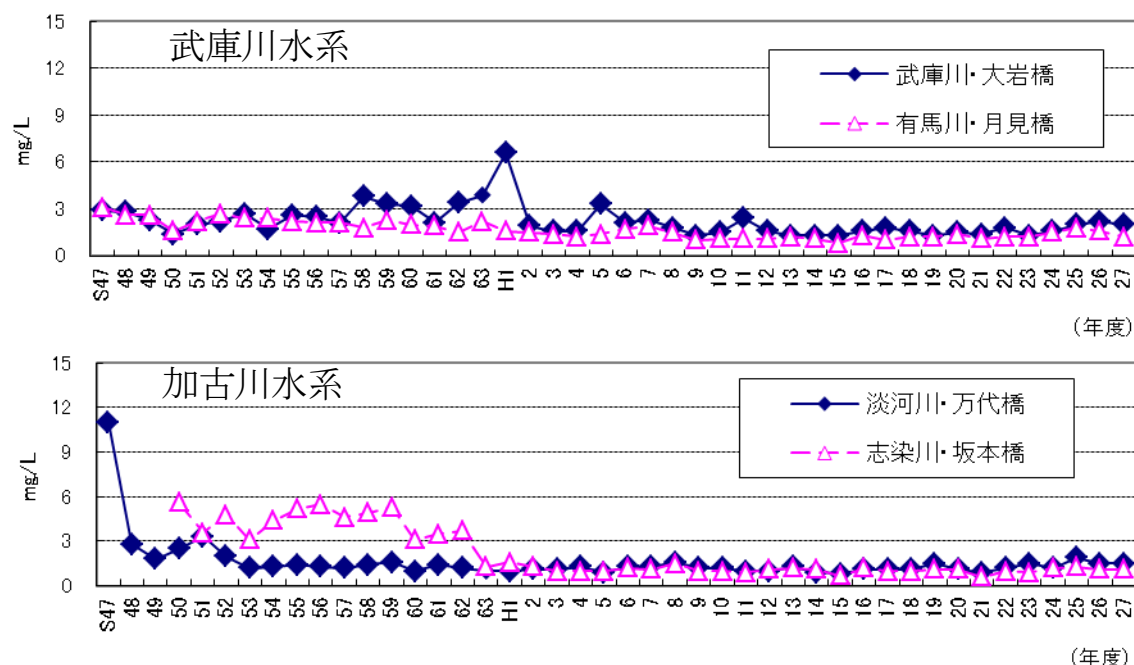


図 2-1-5 北神水域の水系別水質の経年変化（BOD）

### b. 西神水域

明石川水系の伊川では、昭和 40 年代から 60 年代にかけて、生活排水や工場等からの排水の影響等を受け、汚濁の程度が高い地点が見られたが、下水道の整備、生活排水対策や工場・事業場対策が進んだ結果、近年は良好な水質で推移している。また、瀬戸川水系は、流量が少ないため、年度により変動も見られるが、おおむね良好な水質で推移している。

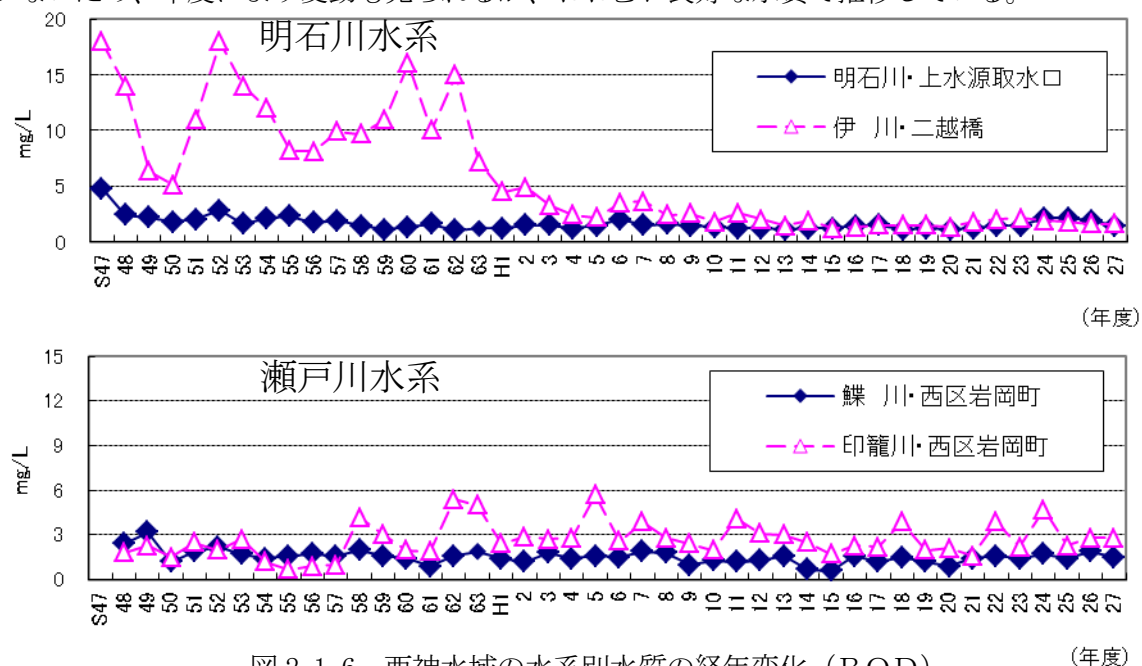


図 2-1-6 西神水域の水系別水質の経年変化（BOD）

c. 都市河川水域

昭和 40 年代まではかなり汚濁の程度が高かったが、下水道の普及に伴い、多くの河川では水質は大幅に改善された。一部の河川では、下水処理場からの放流水に含まれる硝化菌の影響を受けてBODが高くなる現象が見られたが、高度処理化等の対策がとられたことにより、近年ではすべての河川で良好な水質が維持されている。

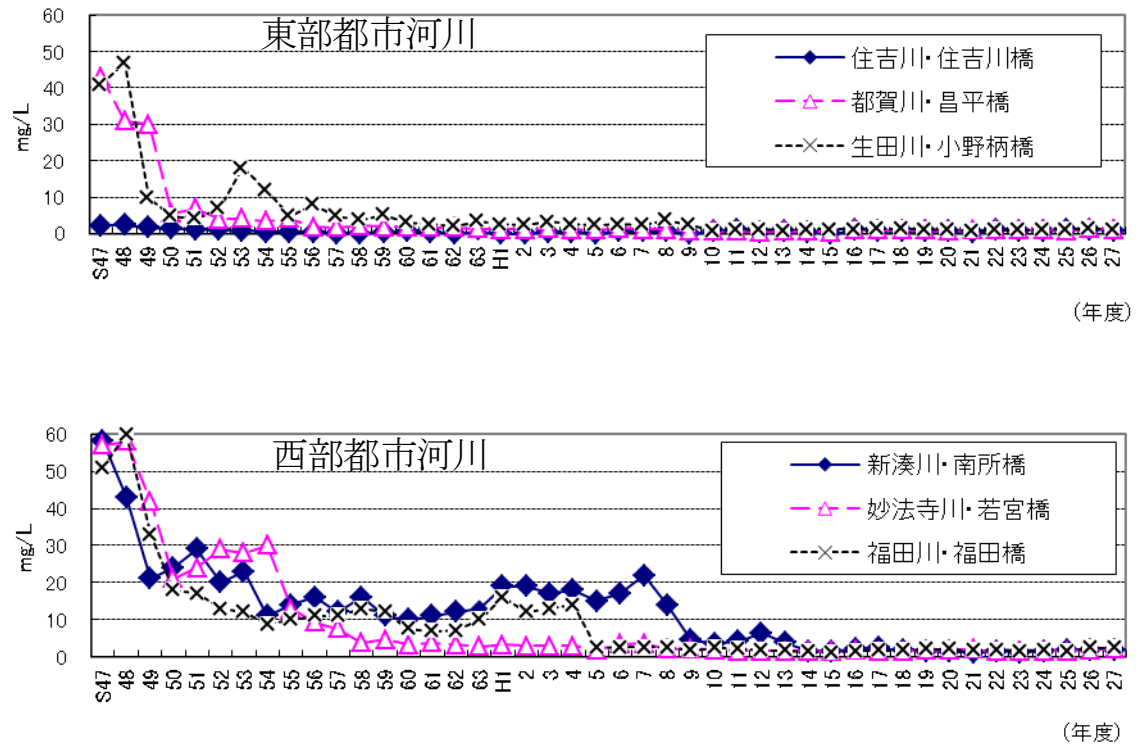


図 2-1-7 都市河川水域の水系別水質の経年変化 (BOD)